



2019-2020年度 主題

国際会長： Jennifer Jones 「より良い明日のために今日を築く」
 アジア太平洋地域会長： “Action!”
 田中 博之（東京多摩みなみ）
 東日本区理事： 山田 敏明（十勝） 「勇気ある変革、愛ある行動！」
 湘南・沖縄部長： 森田 幸二郎（沖縄） 「ワイズを社会に広める再構築をする」
 クラブ会長： 今城 高之 「奉仕する、みんなちがって みんないい」
 ～まずは隣人から～



今月の聖句

「神は豊かな憐れみにより、わたしたちを新たに生まれさせ、死者の中からのイエス・キリストの復活によって、生き生きとした希望を与え、また、あなたがたのために天に蓄えられている、朽ちず、汚れず、しほまない財産を受け継ぐ者としてくださいました。」（Iペトロ1：3-4）

しばらく困難な日々が続きますが、変わる事のない神様の憐れみと希望により頼んで、日々安んじて励むことが出来ますように。

なによりも皆様のご健康が支えられ、主の祝福とお導きが豊かにありますようお願いいたします。

在 主 相 賀 昇

会長の一言

こんなはずじゃなかったのに、とおられる方も多いことと思います。昨年12月31日、WHOが中国武漢市で原因不明の新型肺炎患者発生と報じ、新聞の片隅に関連記事が掲載されました。本年1月30日、国立感染症研究所が日本で新型コロナウイルス感染者が確認されたことを発表しました。それから2カ月半が経過した今、国内のほとんどの機能が麻痺するような事態に陥るとはだれが想像できたでしょうか。この試練に負けないよう、一人一人がしっかりと状況を見据え、家族や仲間と手を携えて難関を乗り越えましょう。

We shall overcome!

今城高之

巻頭メッセージ

コロナ危機

岡崎 さよ子

新型コロナウイルスの拡大で、世界中の事態が一変してしまいました。

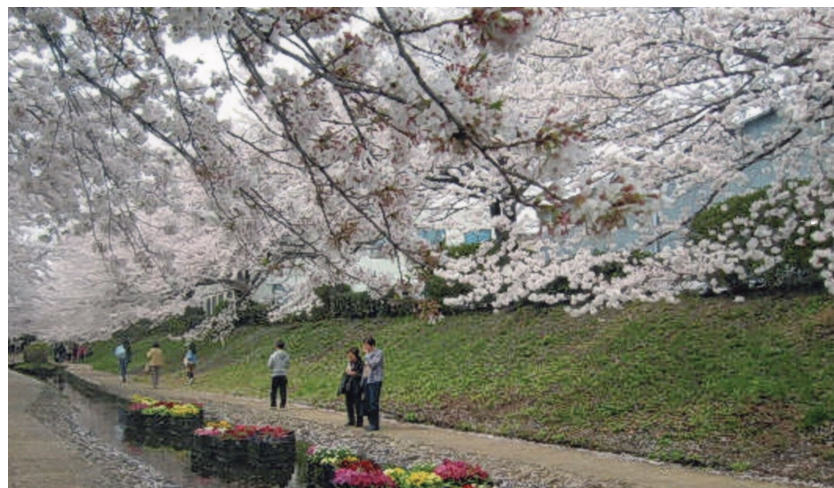
パンデミック宣言、クラスター、オーバーシュートなど普段耳にする事のない言葉が、終日報道されています。

救うべき命の選択が始まっている国もあると聞き、胸が締め付けられる思いです。

私達に出来る事は、外出自粛と社会的距離を置く生活をして、感染拡大を止める努力をする事しかないようです。

この様なピリピリとした昨今、少しでも“ほっこり”していただければと、春の駄句を並べてみました。

- 一天を覆い尽くして桜咲く
- 夜桜を独り占めして露天風呂
- 正座してひざ掛け分け合う花の冷え
- テラス席パスタランチの花菜色
- 天辺へ春風廻す観覧車
- 春風や一両電車街を馳す
- 朧月カーテン明けしままに置く
- 富士裾野覆い尽くして花菜畑
- 富士望む公園に来て春夕焼け
- 鳥雲に国境のなき空の道
- 春愁やキャッシュレス化に乗り遅れ
- 庭の薔薇切って一人の誕生日



北Y便り

山中奈子さんの後任で横浜北YMCAの館長に就任された鴨下純久さんからメッセージを頂きました。今後は、担当主事、クラブメンバーとして我がクラブの活動に参加して下さいます。(編集子)



皆様に三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジでお会いしたことがつい先日のように感じます。4月より横浜つづきクラブの担当主事ならびに横浜北YMCAの館長の役割を担うこととなりました。今城ワイズから「熱烈歓迎」のメールをいただきました。光栄です。過去に横浜クラブ、横浜とつかクラブの担当主事を務めさせていただきましたので、3回目の担当主事となります。どうぞよろしくお願いいたします。

神奈川県では緊急非常事態宣言が発令されました。横浜北YMCAでも日々変化する状況の中、丁寧な会員対応とスタッフの健康管理を徹底しています。お一人お一人がご自身と大切な仲間の健康を守り過ぎていただくことを願います。



4月に入り新型コロナウイルスの感染が更に拡がり、

横浜北YMCA 館長 鴨下純久

《お便り》 ブリテンの読者からお便りをいただきました。過去に、私たちの東日本大震災被災地訪問プログラムにご一緒下さった石丸由理さんからです。リトミックの権威で、石丸さんがピアノを弾きながら子どもたちに語り掛けられると、子どもたちが魔法にかかったように飛び跳ね、乱舞します。そんな石丸さんは今でも、週一回、ZOOMを通じて子供達を魔法の世界に連れて行っているようですが、子どもたちに直接触れることができないもどかしさを感じているとおっしゃっています。(TI)

記事、興味深く面白く読ませて頂きました。

有難うございました。

本当に今、必要な事は皆が知恵や力を合わせて、仲間や

国単位の考え方だけではなく、地球の一員として、色々自

由に意見を交換したり、教えあうことの大切さを感じます。

私は子供達とリトミックをしている時、2人組、3人組等と他

人と関わっての動作をよくします。その時に、上手く行くように

と、要領よく人を選ぶ子供、いつも同じ人しか組めない子

供、いつも1人になってしまう子供・・・

社会の縮図を見ている気がします。

その子供達が、将来、他人を差別したり、見て見ぬふりをし

てしまうことになってしまうかもしれないと思うと、黙ってはいれ

なくて、いつも子供達に問いかけて、どうしたらみんなが気持

ち良く出来るか、こだわってレッスンしています。毎回クラスに

よって答えは違いますが、でもそれが社会の面白さと思ってい

ます。

そんなリトミックも、人とかかわるために中止です。

それでも、機械と向き合う事が増えている子供達、

目と目を合わせて、触れ合う事が少なくなって育って行く子

供達は、どんな大人になるのでしょうか・・・

だんだん他人を考える事が下手になってしまうのではないかと

心を痛めています。

色々考えながら過ごす毎日です

どうぞ皆様お身体大切にお過ごしください！

石丸由理

4月にお誕生日を迎える方は、岡田勝美さん(1日)、鈴木恭子さん(9日)福島佐世子さん(17日)です。



横浜YMCAの
ウェルネスデリバリーで
体を動かしましょう!

(3月のデータ) 新型コロナウイルスの感染防止のため、2月本例会以降、クラブのプログラムは休止しており、残念ながら報告できるデータがありません。

例会出席	一名	在籍会員数	18名	各種記録	前月	年度累計
メンバー	一名	月間出席者数	一名	使用済み切手	0	0
ビジター	一名	メーキャップ	一名	スマイル	0	25,000円
ゲスト	一名	月間出席率	-%			

(国際協会からのメッセージ)

2020年3月27日

新型コロナウイルスの世界的流行

この危機を、力を合わせて乗り越え、人類への私たちの奉仕を続けましょう

親愛なるワイズメンズクラブメンバーの皆さまへ、

この異常な時期、皆さまと皆さまの家族が安全で健康であることを願っています。私たちの思いと祈りとは、皆さまと皆さまのクラブの他のメンバーとともにあります。私たちは、さまざまな方法で世界中のすべてのリーダー達とのつながりを保ち、連帯と友情を強めるために最善を尽くしています。

ご存じのように、世界中のすべての人々、機関、政府、組織は、歴史上初めて、祈りと命を守る行動を促す共通のメッセージとともに団結しています。新型コロナウイルスの世界的流行は、地球上のすべての地域に広がっています。恐怖とパニック、痛みと苦しみ、そしてウイルスおよび私たちがこれに十分に対応できないことについての疑念と誤った情報があります。苦しみと悲劇の物語の中であって、純然とした優しさと豊かな愛、連帯の物語もあり、そして、多くの国で対応している私たちのクラブと YMCA による革新的かつ驚くべき方法での希望と平和の共有の物語もあります。

私たちが奉仕できる道には多くの制約がありますが、私たちは、社会的責任を負う組織として、この危機において最も脆弱な人々、すなわち、貧しい人々、高齢の人々のニーズを考慮することを皆さまに強くお勧めします。この重大な危機の中で、私たちは、リーダーシップを提供する人々や世界中の政府のために祈りを捧げ、貧困に暮らす人々、難民および他の疎外された人々に優先的に関心を払うこと促します。

今のこの、家に留まらなければならない期間、クラブメンバーは、電話やオンライン環境を通じてコミュニケーションを維持することによって、深い連帯と友情を経験してください。全ての地のメンバーと家族の皆さまには、この状況に対処することを最優先し、また、生命を守るための私たちの集団的な努力で、私たちができるあらゆる方法でご支援いただくことをお願いいたします。神の無条件の愛を、生命を守り、苦しみを軽減する、安全で実行可能な方法で示し、クラブが前向きさと希望の源となることを確かなものとさせましょう。このところ皆さまは、家に留まっていないかもしれないかもしれませんが、しかし、肉体的に距離を置くことは、他者からの感情的な孤立を意味するものではありません。世界中のクラブに対して、貧しい人々、病人、疎外された人々、高齢者、特に、サービスの物理的なシャットダウンによって最も危険にさらされているすべての人々に安全に奉仕し、必要なものを提

供し、世話をすることで、社会におけるクラブの役割を再度見直していただくことをお願いいたします。

私たちのウェブサイト <https://www.ysmen.org/covid-19> を通じて皆さまの考えと行動を共有していただくことによって、世界中のメンバーが皆さまの知恵と創造性を広く共にすることができるようになれば幸いです。

私たちは、世界がこの危機を、力を合わせて克服し、私たちの人類への奉仕を継続していくことを確信しています。神が皆さまを祝福し、安全に保ちますように。

心をこめて

ワイズメンズクラブ国際協会

国際会長 ジェニファー・ジョーンズ

国際書記長 ジョース・ヴァルギース



《寄稿》 横浜YMCAとミャンマー

(前号からの続き)

・最後の礼拝での広瀬さんの祈りについての小塩さんの文を読んで、突然私は横浜クラブのブリテン1月号に載っていた青木一弘さん（横浜YMCA）の「敬虔な仏教徒の住む国 ミャンマーを訪れて」というレポートを思い出しました。青木さんは横浜YMCA主催の「第23回ミャンマーボランティアの旅」に引率スタッフとして（まさにかつての広瀬さんたちの奉仕時期と全く同じように）昨年末～今年年初にかけてミャンマーを訪れた。“この訪問は、現地の人々と友好を深めること、介護予防教育活動の実施とその人材育成支援が主たる目的であった。”なんと横浜YMCAは、小塩さんが著書の中で触れた奉仕を今日まで続けていたのだ。青木さんは、「ミャンマーでは、他人に弱みを見せることを恥ずかしいと感じる文化があるため、外部の人間が介護を行うことには、日本で考える以上に抵抗を受けることもあり、受け入れてもらうためにはコミュニケーションをとることが重要であることを知った。」と書いている。この感想はまさに広瀬さんが最後の礼拝で「もっとも小さい人々に仕えることを許されて、



感謝します」と祈り、小塩さんの云う「上からの立場で人に何かをしてやるのではなく、仕えさせていただくこと」という意味と完全に一致している。これも横浜YMCAが永年コミュニケーションを重ねてきたからこそ信頼され、その奉仕も受け入れ、続けられてきたのだと思う。広瀬さんたちの奉仕も最初は村人たちは敗走中の日本兵たちの悪行の印象もあり非協力的だったらしいが、最後は進んで協力してくれたとのことだった。横浜YMCAはタイを含め海外でも様々な奉仕プログラムに取り組んでいるが、いずれも長期的に継続しており素晴らしいことだと思う。

・これまでミャンマーについては、大昔「ビルマの竖琴」（竹山道雄）を読んだくらいで何も知りませんでした。広瀬さんがミャンマーの留学生から無医村の話しを聞き、奉仕を思い立ったとのことでしたが、「留学生」で思い出したことがあります。私がまだ学生だった頃、父が有志の方々とミャンマーの青年を対象に奨学金制度を検討していることがあった。ミャンマーも独立直後のことでドル送金が難しく、父から「現金を持参して直接相手に手渡ししかない。お前運び屋にならないか。」と言われた記憶があるが、この話はなんとなく立ち消えになった記憶がある。今回、小塩さんの本や青木さんのレポートを読んでミャンマーが少し身近に感じられるようになったので、引き続き横浜YMCAの取り組みに注目しつつ多様性が求められる海外での奉仕の意味についても考えていきたいと思った次第。（完）

《TKBお仕事会に寄せて》

お誕生カードづくり

東日本大震災の後、つづきクラブでは宮城県・亶理町の老人ホーム・みやま荘と、つばめの杜保育所のへの訪問が始まりました。それと共に林茂博さんと理子さんが施設を利用するみなさんへ手作りのお誕生日カードを送っていました。

5年前に南相馬の聖愛こども園にもカードを送ることになり、現在、TKBのメンバーがカード作りのために毎月一度集まっています。

毎回作るカードは30枚前後ですが、表紙を飾る季節の折り紙はほとんど理子さんがデザインをして見本を作ってくださいます。その見本は可愛くてTKBのメンバーから歓声があがります。しかし私達の長年働いた太い指で小さな折り紙を折るのに四苦八苦しています。でもホームの方や子供たちの事を思うと心が弾みます。みんな童心にかえりおしゃ

べりも賑やかで楽しいひと時です。私たちの認知症予防にもなっているのではないかと思います。

作業は岡崎さんのお宅をお借りしていましたが最近は「みんなの夢カフェ」でも行います。

3月からは新型コロナ肺炎対策の自粛

により集まることができません。新型コロナ肺炎の感染拡大が一日も早く終息し、再開できるようにと願っています。

(4月のカード)



2020年4月

鈴木恭子